

## 平成26年度 第2回石垣市自然環境保全審議会 議事要旨

■日 時：平成26年11月10日（金）14：00～17：20

■場 所：大濱信泉記念館

■参加者：計16名

■委員：8名（欠席3名）

■事務局：4名

■関係機関：4名

### ■議事次第：以下のとおり

1. 開会あいさつ

2. 審議

議題1 希少野生動植物種の指定候補について

議題2 希少野生動植物種保護地区の指定について

(1) 議題の説明

(2) 議題についての審議

(3) 意見のとりまとめ

3. その他

4. 閉会あいさつ

### ■議事概要：以下のとおり

#### □開会あいさつ

石垣市自然環境保全審議会会長より開会のあいさつ。事務局よりスケジュールの確認。

#### □審議

議題1 希少野生動植物種の指定候補について

(1) 議題の説明

- ・今年度の動物における保全種の検討対象は、「陸域」に生息する動物のうち「両生類」、「爬虫類」、「昆虫類」を対象とする。また、植物は、シダ植物門以上の高等植物（維管束植物）を対象とする。
- ・事務局案の保全種候補は、その選定基準として6つの基準項目(a)～(f)を設定し、まず(a)に該当する種を抽出し、次に(b)～(f)の選定条件を総合的に検討のうえ保全種候補を抽出した。それぞれの基準項目は、(a)現に個体数が減少、あるいは生息環境が悪化しており、絶滅のおそれがある動物、(b)狭域分布種、限界分布種など、分布の特殊性を有する動物、(c)学術的にみて地域個体群として特に重要な活を有する動物、(d)石垣島内において特殊な生息地、生態を有する動物、(e)減少要因として捕獲圧が懸念される動物、(f)その他（有識者ヒアリング等）となる。結果、爬虫類ではヤエヤマセマルハコガメの1種、両生類ではコガタハナサキガエルの1種、昆虫類ではヤエヤママルバネクワガタとアサヒナキマダラセセリの2種を事務局案の保全種候補とした。

## (2) 議題についての審議

### 【意見】

- ・ある種について、島内で絶滅のおそれがある等危機的状況があるにも関わらず、石垣島外での生息があるため、その種を保全種に指定しないという考えは残念である。
- ・ある種について、現在、石垣島に生息する種と石垣島外に生息する種が同種と扱うことが常識とされているが、将来、実は別種であったという話になる可能性もある。このようなことも想定しながら、保全種を絞り込むことも大切だと思う。
- ・保全種指定の作業において、既存資料のみに依存してしまうと、本来は地域で規制していかなければならない生物種であっても、それができないということがあり得る。それだと、希少な野生生物を守ることができない。地域で活動している住民の意見をもっと聞くべきである。
- ・生物を取り巻く環境や事情の変化もある。保全種等の追加や見直しが将来的に必要な場合が生じてくる。それをフォローするために、定期的な見直しをすべきであると考え。定期的な見直しについては明記していただきたい。

## (3) 意見とりまとめ

今回提示した具体的な保全種候補の絞り込み作業について、本日いただいた委員の意見を取り入れて、もう一度見直しを検討したい。

※植物の保全種候補についての審議及び議題 2 希少野生動植物種保護地区の指定については、日を改めて検討することとした。

## □その他・閉会あいさつ

事務局より第3回審議会開催日程等の事務連絡。閉会